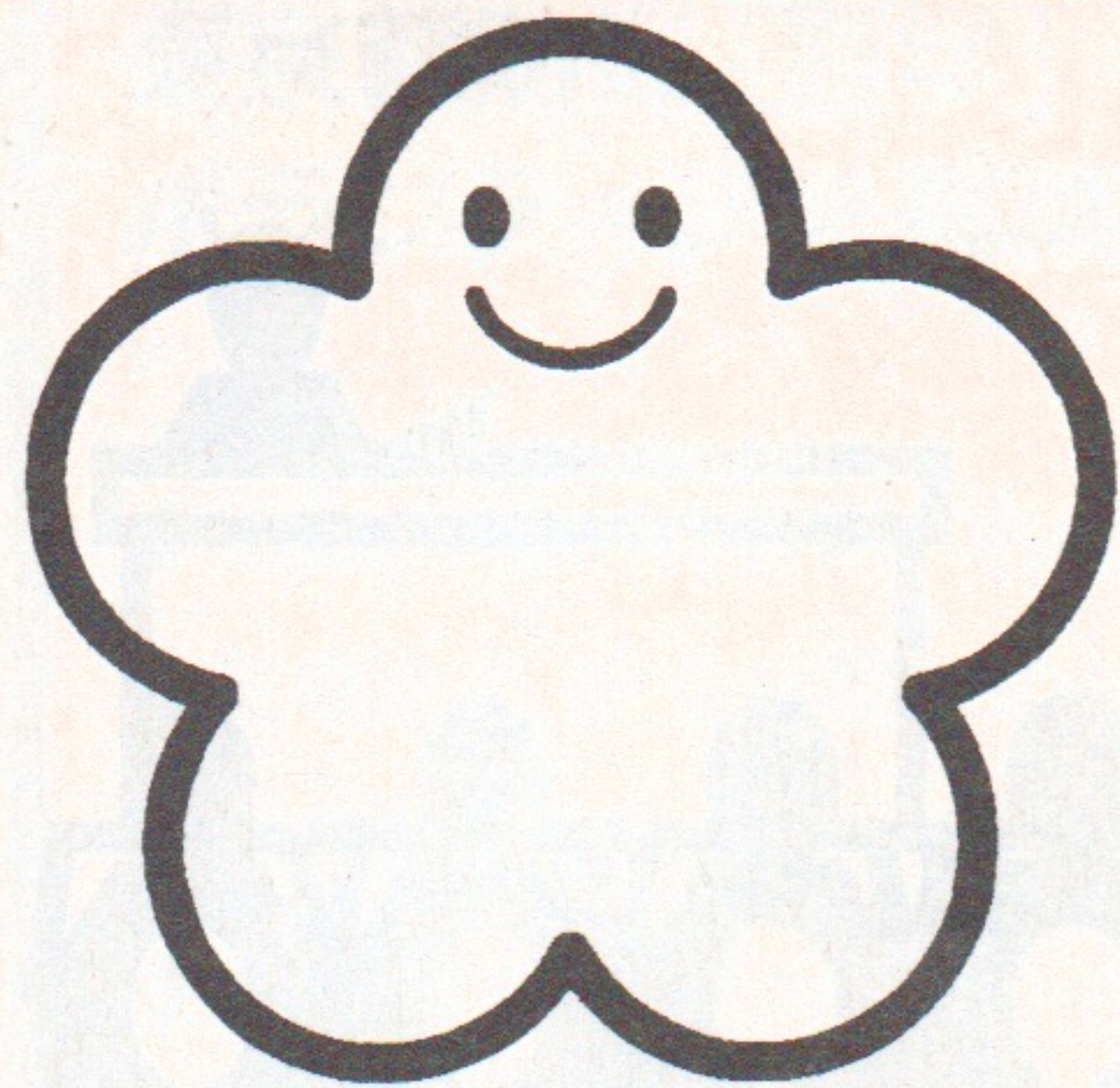




Nihongo Network News

1996.10.14

発行

No.

12

東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・センター気付 ☎ 03-3235-1171

「東京Ours'96」に参加して 国際交流イベントを 盛大に開催！

8月24日(土)から11月17日(日)にわたって開催されている市民フェスティバル「東京Ours'96」のなかで、8月24日～9月8日は「国際交流ーみんなみんなが地球市民」がテーマ。趣旨に賛同して、TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークも趣旨に賛同してこのイベントに参加し、9月8日(日)に「国際交流井戸端会議&国際交流学芸会」を主催しました。当日は好天に恵まれ、外国人を含む多くの来場者が西新宿・都庁前の「都民広場」を訪れ、楽しい一日を過ごしました。

▶▶ 第一部 国際交流井戸端会議 ◀◀

正午からのKDDフリーコール・サービスが終了する頃に、第一部の国際交流井戸端会議がスタート。「東京に住んで感じたこと」というテーマで、世界各国の方たちに、日本での暮らしを通して感じたことや、日頃考えていることなどを話していただきました。それぞれ5分ずつのスピーチで、スピーカーの国籍は、インド・台湾・トルコ・オーストラリア・ウルグアイ・スリランカ・中国・バングラデシュ・ブラジルなど。

国際交流井戸端会議&学芸会



O visual colorido e os tambores de Okinawa impressionaram o público

職業も学生・会社員・研究者・主婦・教師・僧侶など多種多様で、手話通訳も行なわれました。

漢字の意味の違いからおきた面白い誤解や、日本語と思っていた言葉が実はポルトガル語だったことなど、興味深い話がつぎつぎとびだして、ベンチを埋めつくした聴衆は拍手喝采。なかに、いとし子を見るように微笑みを湛えて一語一語に深く肯きながら聞いていた方が印象的でした。皆の暖かい声援はきっと話し手にも伝わったことと思います。終わってから、もう少し時間の余裕が欲しかったね、という声が聞かれ、これだけがちょっと残念でした。(担当/渡辺泰子)

▶▶ 第二部 国際交流学芸会 ◀◀

第二部の国際交流学芸会には8グループが参加。「童謡・唱歌をうたう会」のコーラスが始まる頃には、来場者も増え

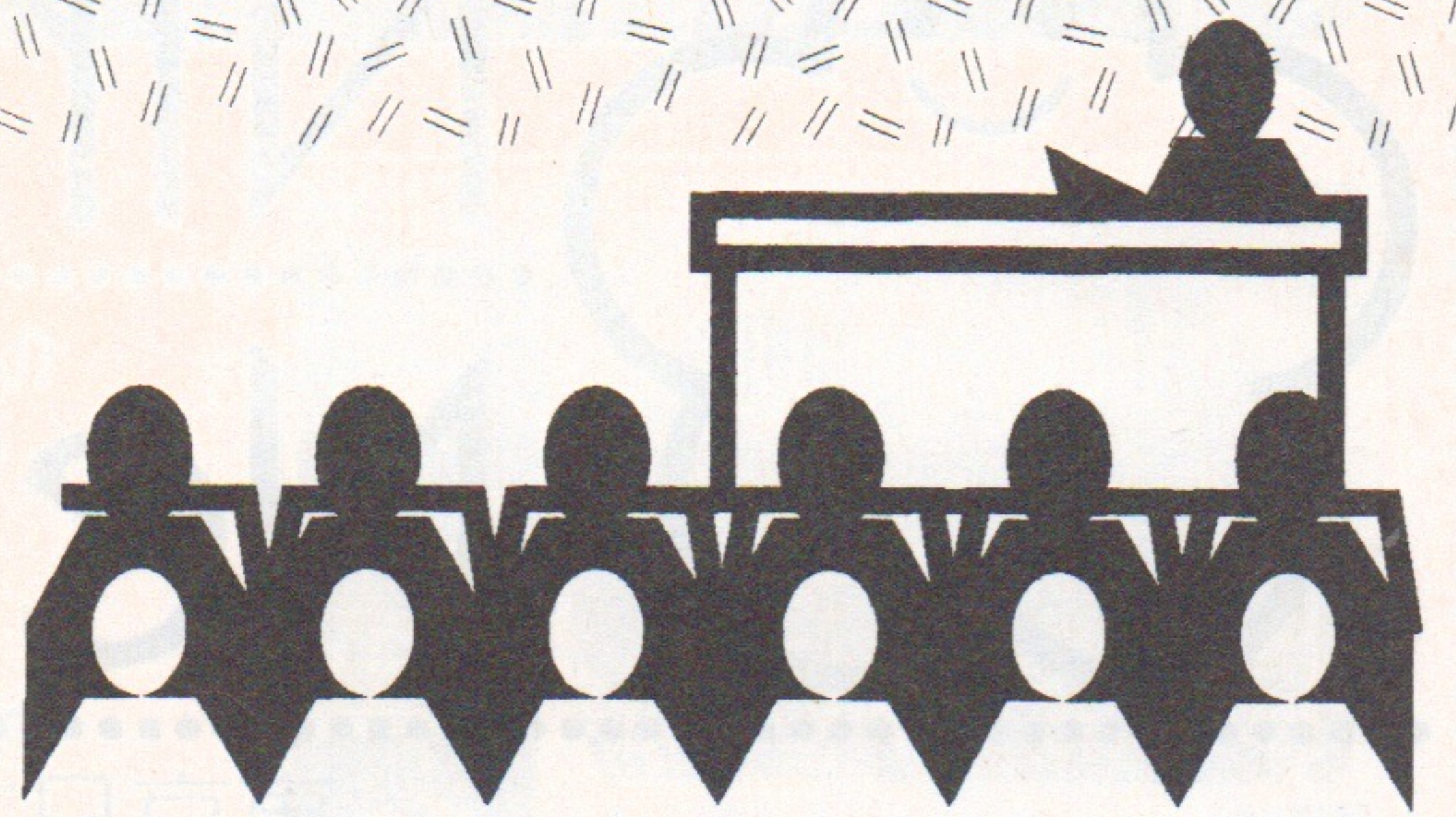
て会場後部には立ち見をする方々の姿も多くなりました。次に「スタンダップ・パンプキンズ」の2人が息のあった大道芸の数々を披露するジャグリングショー、親子のブルースバンド「ブラインド・レモン・ブラザーズ(千賀明三&太郎親子)」。

最近CDデビューしてTV出演の機会も多い2人に、会場からも「太郎ちゃん」という声援があがりました。続いて「スカーレット」のコーラス、アフリカのパーカッション奏者、ムクナ・チャクウンバさんの歌と演奏、「セントポーリア」のコーラスと続き、演目もクライマックスに。

威勢のよい太鼓と指笛で始まった総勢30人による「東京沖縄県人会青年部」の沖縄エイサーは、広場中の目を引きつける迫力でした。最後は、ブラジルのマルコ・A・マンチーニさんのサクソ演奏をきっかけにリズミカルなサンバが登場。会場全体をまきこんでの大サンバタイムとなり、踊れない人も踊れる人もみんなが立ちあがってダンスを始め、そこにはまさに国境もなにもない大きな輪が広がりました。

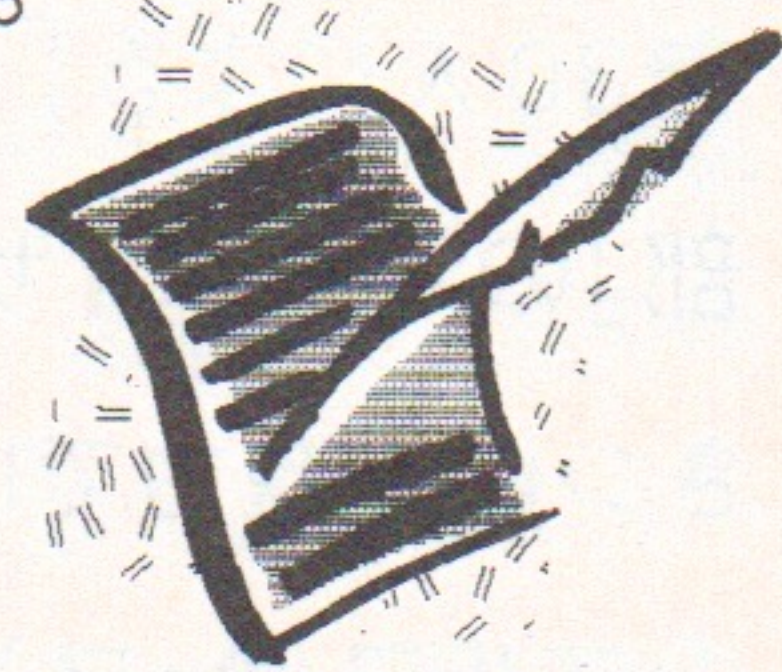
このようなイベントへの参加はTNVNとしても初めての試みでしたが、またひと回り大きく羽ばたいたことを実感できたイベントでした。(担当/橋本佳子)

'96 TNVN 日本語ボランティア 育成講習会がスタート!



'94年から日本語ボランティアの経験者を対象に実施してきた日本語ボランティア育成講習会が、今年も10月4日にスタート。第三回目の開講となる今回は、(財)日本財団の助成によって開催しています。笹川平和財団の委託事業としてスタートした当初の目標通り、三年間にわたって日本語ボランティア育成講習会を継続することができました。

最後の開催となる今回も、日本語教授法講座と相互理解講座による構成で、日本語ボランティアの資質向上のために役立つ内容です。これまでの講習会での要望から、今回は全回を通しての受講のほかに、1回ごとの講座の受講も受け付けています。定員に余裕のある講座はこれからでも受講の申込みを受けますので、関心のある方はお問い合わせください。



●日時

10月4日(金)～12月14日(土)までの全10回 午後1時15分～4時50分

●会場

東京ボランティアセンター

(JR・地下鉄 飯田橋駅下車 1分)

●受講料

1回ごとの申込みは、申込み書に出席希望日をご記入ください。

TNVN会員 (1回) 1,000円

一般 (1回) 2,000円

講師

テーマ

【日本語教授法講座】

西口光一(大阪大学留学生センター)

自己表現中心の日本語教育

元橋富士子
(津田日本語教育センター・
早稲田大学日本語研究教育センター)

運用力をつけるための日本語教育の方法論

清 ルミ(早稲田大学国際部)

日本語教材の料理法

【相互理解講座】

金 迅野(神奈川県国際交流協会)

共に学びあうボランティア活動

川添利幸(元・中央大学学長)

外国人の人権

金子雅臣(東京都労働経済局)

相談窓口から見た最近の外国人労働問題

米原 亮三(東京都生活文化局国際部)

ボランティアと行政とのパートナーシップ

斎藤 英生(在日外国人生活情報誌連合会) 在日外国人の現状と生活情報誌

原 裕視(アクセス心理教育研究所)

異文化間心理学・教育学

小林悦夫(中国帰国者定着促進センター)

中国帰国者の定着問題と支援の体制

柳沢好昭(国立国語研究所)

相互理解のためのトータルコミュニケーション

講座スケジュール

		(1:15～2:55)	(3:10～4:50)	(会場)
第1回	10月4日(金)	交流会	金 迅野	7F 学習室
第2回	10月12日(土)	元橋富士子	元橋富士子	7F 学習室
第3回	10月26日(土)	元橋富士子	元橋富士子	7F 学習室
第4回	11月1日(金)	西口光一 ※	西口光一	7F 学習室
第5回	11月8日(金)	川添利幸	金子雅臣	7F 学習室
第6回	11月15日(金)	清 ルミ	清 ルミ	6F 視聴覚室
第7回	11月22日(金)	斎藤 英生	米原 亮三	6F 視聴覚室
第8回	11月29日(金)	原 裕視	原 裕視	7F 学習室
第9回	12月6日(金)	小林悦夫	柳沢好昭	7F 学習室
第10回	12月14日(土)	西口光一	西口光一(含修了式)	7F 学習室

※外国人学習者の参加によるモデルクラス

■問い合わせ・申込み 下記まで、郵送またはFAXでお願いいたします。

前田 恭子 〒152 目黒区東が丘1-30-8 FAX:03-3412-6711

中田 紀子 〒206 多摩市豊ヶ丘4-2-4-401 FAX:0423-72-2236

■主催 TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

■後援 (財)日本財団(旧・日本船舶振興会)

[いきいきフェスティバルTOKYO'96] に参加しました



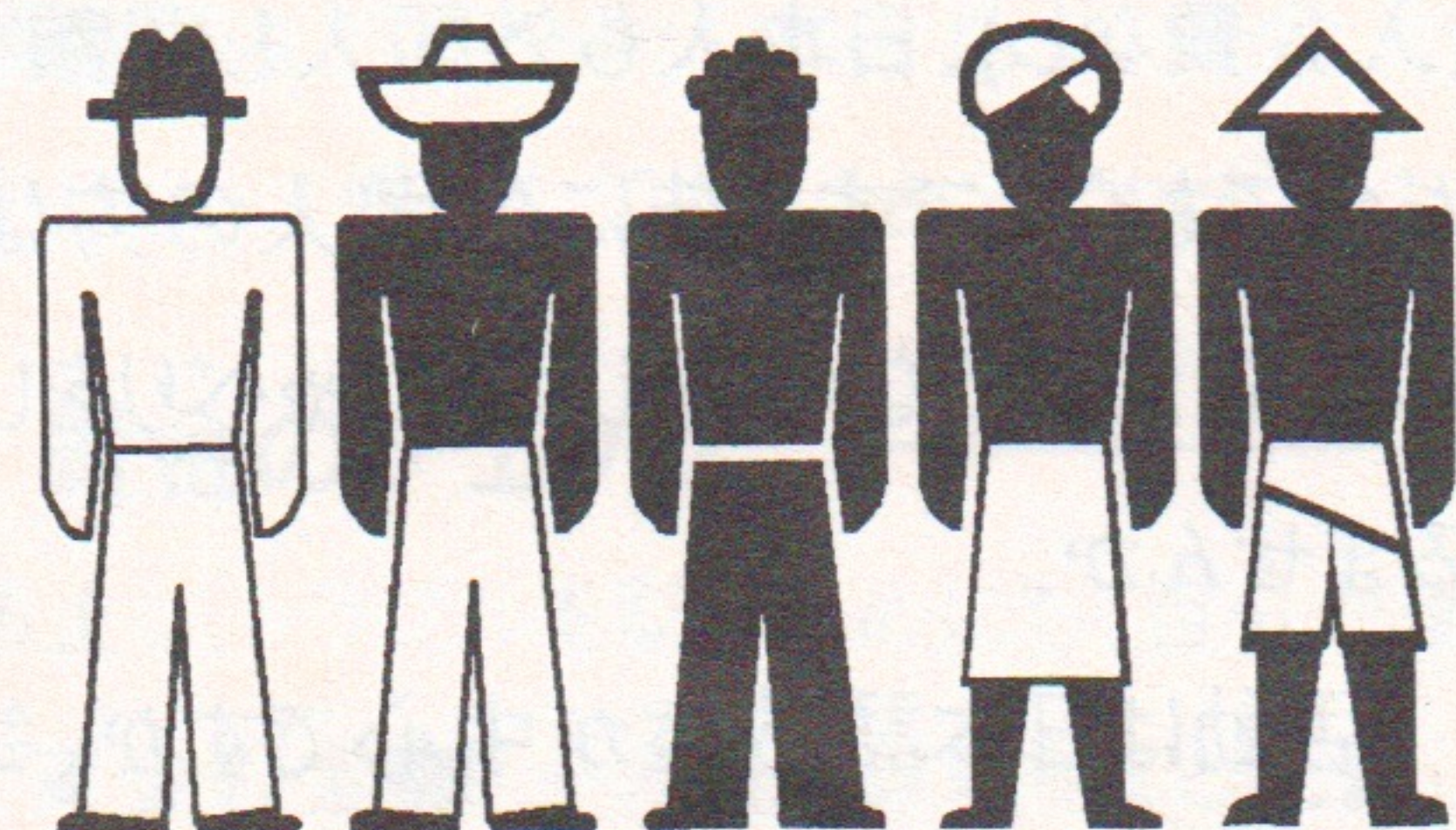
9月28・29日の2日間にわたって、池袋のサンシャインシティ文化会館4階展示ホールで、社会福祉法人東京都社会福祉協議会の主催で『いきいきフェスティバルTOKYO'96』が開催されました。TNVNは東京ボランティア・センターのお勧めもあって、このなかの「いきいきゾーン」に展示ブースをだしました。

このイベントは「高齢社会が楽しくなる」をテーマに、相談コーナーのあ

る「ほっとゾーン」、高齢者向け家具・住宅設備・健康器具・化粧品・介護用品などの企業が出展する「うきうきゾーン」、シンポジウムや高齢者ファッションショーなどが開かれる「ふぉるてステージ」、そしてさまざまなグループの活動を紹介する「いきいきゾーン」と会場が大きく4つに分けられ、来場者はそのなかを自由に行ったり来たりして楽しんでいました。

TNVNの展示ブースには、活動を紹介する写真パネルを展示し、2人ずつスタッフが常駐して、日本語ネットワーク・ニュース11号を配布したり、日本語ボラン

ティアに関する相談を受けたりしました。しかし、「高齢社会・・・」というテーマのためもあり、来場者のほとんどは高齢の方々だったため、組み紐や造花などの趣味的なものに人気が集まり、日本語ボランティアへの関心はいまひとつだったようでした。日本語ボランティアは年齢に関係なくいつまでも続けられ、仲間も世界も広がる活動だということをアピールしたかったのですが残念でした。



第四回「ネットワークの会」が開催されました

日本語ボランティアやTNVNに関するさまざまな話題を自由に話し合うための場として3月からスタートした「ネットワークの会」も、毎回、奇数月の最終木曜日に開催され、今回で第四回目を迎えました。第四回は9月26日(木)午後6時から東京ボランティア・センターで、9月8日(日)に開催された「東京OURS'96」でのイベントの反省会を兼ねて、今後のイベント

への関わり方について話し合いが行われました。

この「東京OURS'96」での「国際交流井戸端会議&学芸会」のような外部の事業へのイベント参加はTNVNとしても初めての試みだったため、当日の感想や反省、次回に向けての改善点など、率直な意見が交換されました。そして、参加者の多くからは「たいへんなことも多かつ

たけれど、楽しかった。機会があればまたこのようなイベントを開催したい」という意見がでて、今回の経験を次回のよりよいイベントに生かすためにも有意義な話し合いとなったようです。

第五回の「ネットワークの会」は11月28日(木)午後6時から東京ボランティア・センターで開催されます。次回は年内最後の開催でもあることから「今後のTNVNの活動に望むこと」をテーマに話し合いや情報交換をする予定です。どなたでも自由に参加していただけますので、この機会に気軽に参加して人や情報のネットワークを拡大してください。



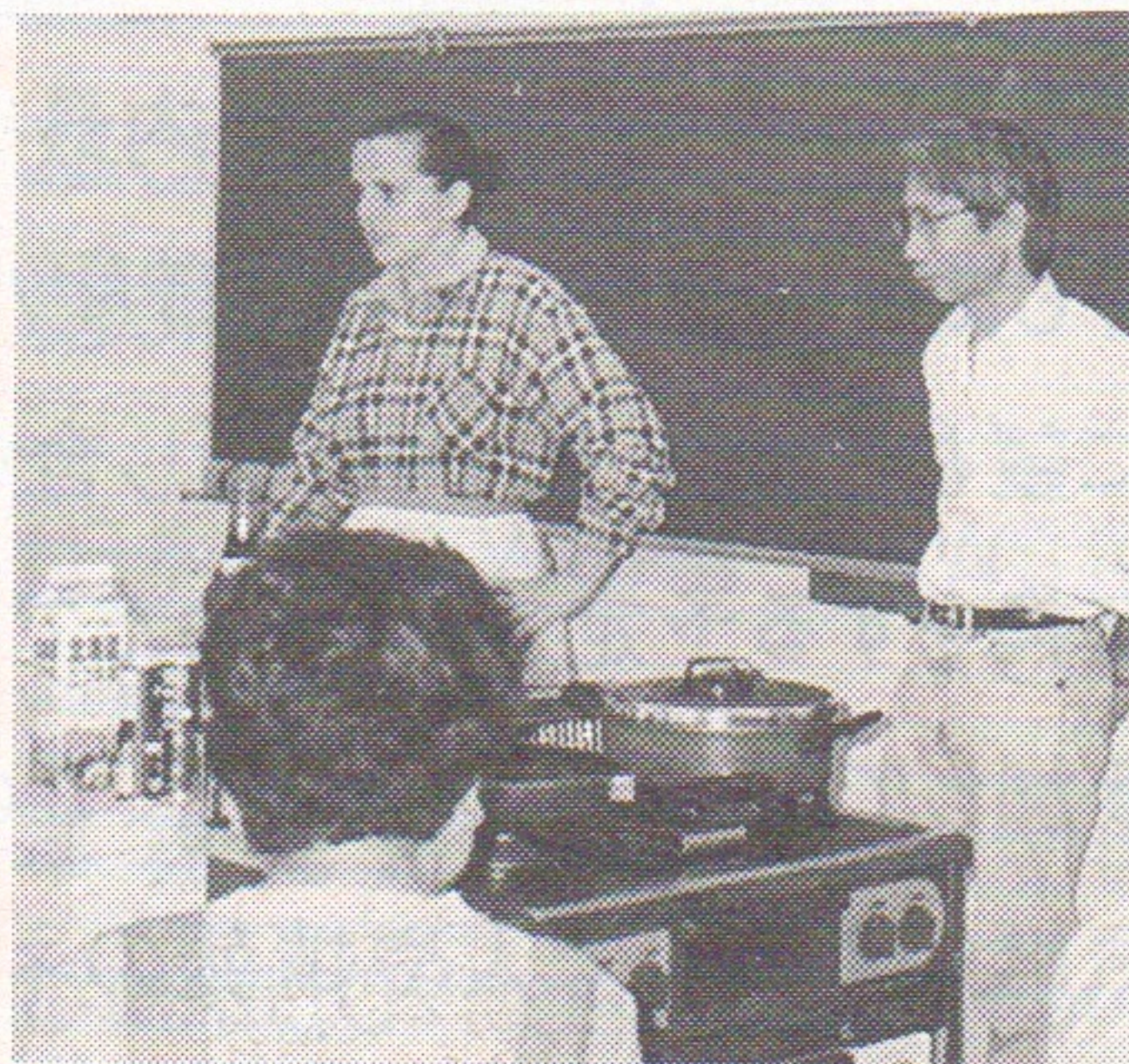
おしゃべりしながら 楽しく交流を

田無国際交流サークル(TIC)
代表 山田 精造

私たちのサークルは1992年に設立され、田無近隣の外国の人たちとの交流を促進するため、毎週月曜日の夜(7:00～9:00)に日本語教室を開催しています。会費は毎月200円(入会費なし)、日本人も外国人も同額です。入会は、いつでも、だれでもOKです。特に外国人の方は大歓迎です。日本語の勉強だけでなく、楽しくおしゃべりをしながら友達をつくってみませんか。

活動は日本語教室が中心ですが、毎年、12月には年末パーティを開催しています。昨年は余興にフラダンスをやったり、日本語教室の生徒さん(外国人)にスピーチをしていただいたり(毎年)、生徒さんの親子でのピアノ演奏などがあり、出席の方々にたいへん喜んでいただきました。一昨年は大正琴の演奏や着物の着付け、日本人ボランティアの方のピアノ演奏などがありました。

次に、伝統文化の紹介では、これまでに茶の湯・書道・和太鼓・着物の着付けなどをやりました。また、料理教室も外国の方を講師として招き、開催しています。料理を作って食べながら、その国の文化の紹介などを行っています(スイス・イタリアなど)。この料理教室は毎回好評です。



昨年開催したイタリア料理教室で

毎月1回以上、日本語の学習時間を半減して、ティーパーティを開催し、コミュニケーションの促進をはかっています。生徒さんの日常生活での困り事などにも、時間外でもできる限り対応しています。

「にほんご教室」 ファミリーへようこそ!

にほんご教室(プランタンにほんご)
代表 池田 康子

江東区文化センターで「にほんご教室」をスタートさせてから、今年で5年目を迎えました。



毎週水曜日、昼と夜のクラスを設け、現在ボランティア教師15名と生徒60名(18ヵ国)で楽しく勉強しています。

学習を通して、文化、世代を超えた交流の場となるよう、今後も活動を続けていくつもりです。今回は、生徒を代表して上級クラスのハリーさんにコメントをいただきました。

(文責/林 千絵)

お世話になってからもう三年になります。江東区文化センターとボランティア先生のおかげでできた日本語クラスでいろいろな国の人と勉強しています。仕事の後、1時間以上もかかって来る人もいます。先生方は休まず忍耐強く教えてくださるので、生徒たちも楽しみにしています。クラス時間以外も先生と生徒はいっしょに食事をしたり飲んだりして、一つの大きな家族のようです。

毎週2時間位日本語の勉強をしながら、面白く時間を過ごす(ティータイムを含む!)のを楽しみにしています。日本語に限らず日本の文化、生活に役立つ情報を教えてくださっているボランティアの先生方にお礼を申し上げながら、心の底から感謝しております。ある有名な詩人の言葉の[for men may come and men may go, but I go on for ever]と同じように、先生方にはずっとこのクラスを続けていただきたいと思います。よろしくお願いします。

スリニヴァサン・ハリハラン (インド/在日3年半)

<TOKYO地球市民フェスタ'97> に参加します！

有楽町の旧都庁舎跡地に竣工した東京国際フォーラムのオープニングイベントの一環として、'97年2月21日(金)から23日(日)までの3日間<TOKYO地球市民フェスタ'97>が開催されます。これは、国際交流・国際協力をテーマにさまざまな分野で活躍しているNGO・ボランティアグループなどと自治体との協力で開催されるもので、参加団体の日頃の活動をアピールすることによって国際交流・国際協力・外国人支援のあり方を広く知ってもらい、交流を楽しみながら相互のネットワークを拡大すること



がその目的。東京国際フォーラムの展示ホール・会議室・ホールなどを会場に、約100団体が参加してコンサート・シンポジウム・セミナー・展示・ショーなどさまざまなイベントが開催されます。

TNVNも、これまで<TOKYO地球市民フェスタ'97>実行委員会の運営委員としてこのイベントの企画に携わってきました。また、当日もTNVN独自の企画でイベント参加する予定で、現在、日本語ボランティアの活動をアピールする主催イベントを企画中です。詳細が決定次第、ニュースレター等でお知らせいたしますので、楽しみにお待ちください。合わせてこのイベント企画にかかわるスタッフも募集していますので、関心のある方はぜひTNVN事務局までご連絡ください。

スペイン語・ポルトガル語の TV放送が スタートしました！

'96年10月1日にデジタルCS放送「パーフェクTV」が開局して、本格的な衛星デジタル多チャンネル放送のスタートとして話題になっています。現在60チャンネルあるパーフェクTVのなかには、IPCテレビジョンネットワークによるスペイン語・ポルトガル語の放送もあります。ここでは、ニュース・映画・ドラマ・スポーツ・バラエティ・アニメなどの人気番組を中

心に、中南米のテレビ番組を放送しています。

『IPCブラジルチャンネル』ではブラジル現地のTV番組からセレクトして、ニュースはリアルタイムで、スポーツ・ドラマ・バラエティ・音楽番組などは日本時間に合わせて放送。また『IPCスペイン語チャンネル』ではアメリカのスペイン語放送局やペルー・アルゼンチンなど、中南

米16カ国からのニュースやさまざまなTV番組をオンエアしています。

これらの放送を受信するには、専用のデジタルチューナーとアンテナを購入の上、IPCテレビジョンネットワークとの番組視聴契約をむすぶ必要があります。詳しいことは下記までお問い合わせください。

◆IPCテレビジョン・カスタマーセンター
TEL:03-5420-3500

ハローワーク(公共職業安定所) 渋谷 外国人雇用サービスコーナー

〒150 東京都渋谷区神南1-3-5 渋谷区神 南合同庁舎

外国人の雇用促進をめざして 専用コーナーを設置してアドバイス

都内には、“ハローワーク”という愛称で呼ばれる公共職業安定所が18ヵ所あり、そこでは求職者への職業紹介や相談に無料で応じています。なかでも、渋谷・新宿・池袋・亀戸・立川の5ヵ所では、外国人専用のコーナーを設置。外国語による相談・アドバイスを受けることができます。今回は、“ハローワーク渋谷”にうかがい、職業相談部長の吉野功さん、統括職業指導官の窪清志さんに外国人の雇用の現状についてお聞きしました。

増加する外国人のために 専用のコーナーを開設

年々増加する外国人雇用者のためにハローワーク渋谷では'94年9月から窓口に通訳を配置して対応していましたが、'95年4月からは新たに“外国人雇用サービスコーナー”として専用の窓口を開設。ここでは週2日、火曜日は英語、木曜日は中国語の通訳が派遣され、職員といっしょに相談者に対応しています。

ハローワークの窓口で外国人が訪れると、まずは希望職種・専門知識や技術の有無・その他の条件を書きこんで、求職票に登録。この求職票に一度登録すれば、3ヶ月間有効となります。そして、求人情報のなかから条件にあった職場があれば、担当者はその会社に電話で問い合わせ、面接日時の手配を取ります。面接が決まると、ハローワークから紹介状を出すことになります。

外国人のために特別の制度があるのではなく、登録・紹介にいたるプロセスは一般の日本人となんら変わりはありません。通常の求人票の中から、外国人を雇うかどうかを雇用先に問い合わせることから始まるそうです。

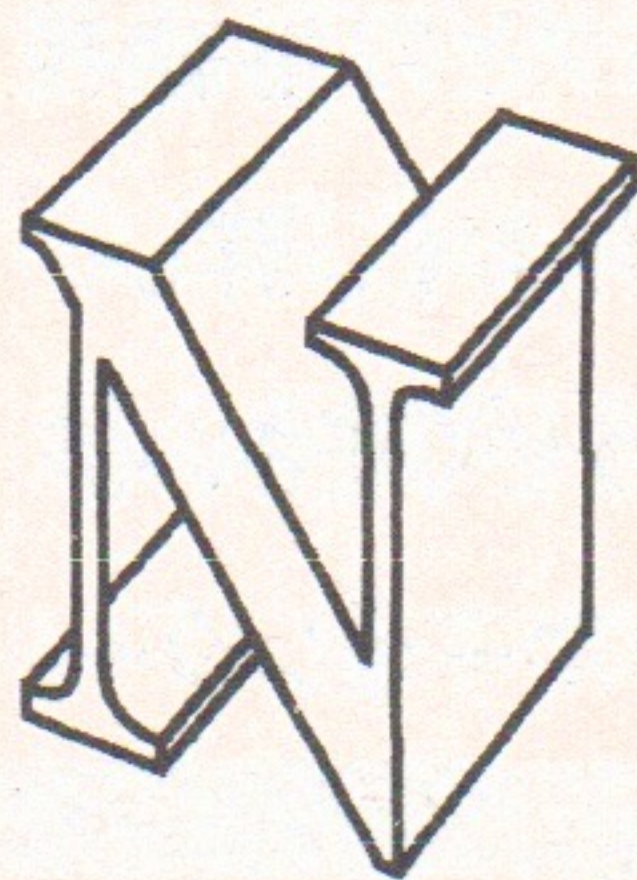
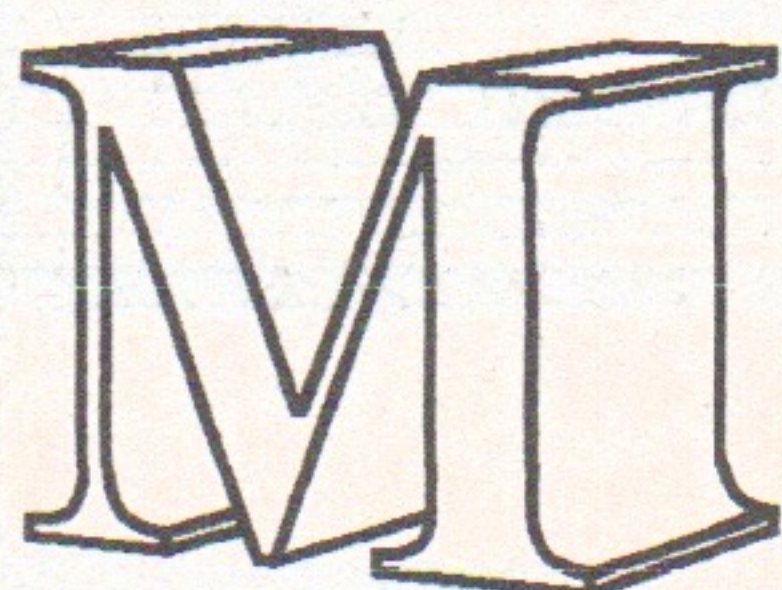
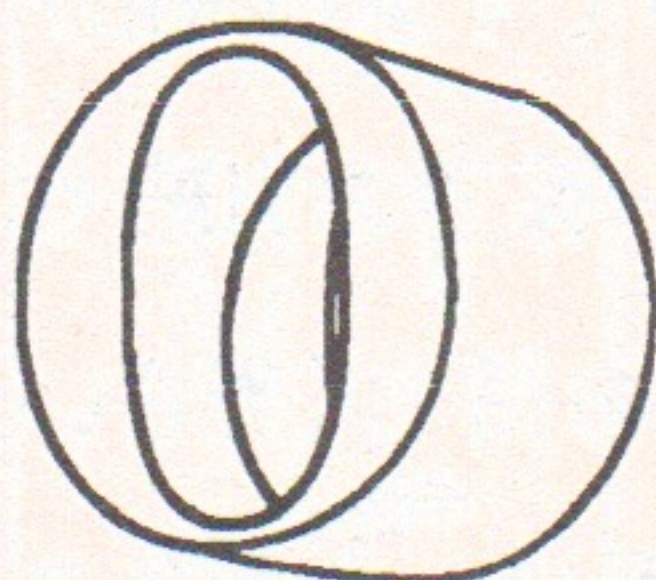
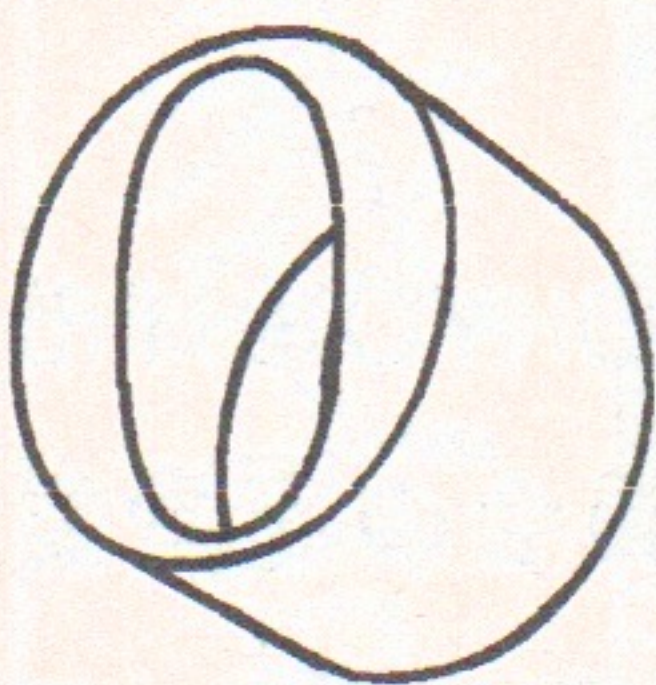
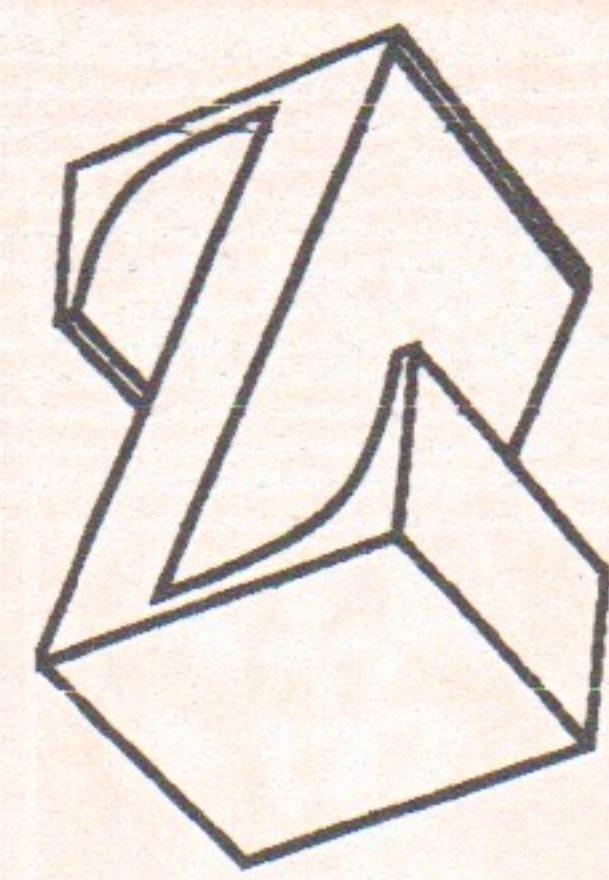
ここでは就職先を求める外国人なら誰でも相談

に応じていますが、求職票に登録する際の条件として、まず永住者・日本人の配偶者・定住者などの〈就労できる在留資格〉、または〈資格外活動許可〉が必要であることは言うまでもありません。

『日本語ができない』が 就職の障害に

外国人ということで、一般のケースより求人の数や職種がせばまる可能性はあります。これは、外国人であるための差別というよりも、仕事をする上で支障があっては困るという理由から。そこには、さまざまな問題があるようです。第一の問題は、やはり言葉です。来所する外国人の6割ほどが、日本語がほとんどわからない状態。通訳を交えての登録手続きは、普通なら20分ほどですむのですが、こういった場合には1時間2時間とかかってしまうことも珍しくはありません。これが実際の仕事の場面になれば、さらに不都合や不便を感じる人が多いのではないのでしょうか。まず、仕事を教わるときの説明・質問では、媒介となる言葉がわからないのではどうしようもありません。また、危険時や緊急時の伝達なども重要です。企業側に外国語のわかる人がいればよいのですが、そういう企業ばかりではありません。

このような理由から、実際に外国人が就職できる職業は、細かい説明が少なくてすむ単純な作業に



限定されがちだそうです。言葉の障害のためにせっかく持っている専門の知識や技術を生かすことが難しいのは、残念なことです。

また、日本の労働条件や習慣の違い(たとえば、昼休みの時間や長期休暇の取り方など)を自分の国と比較し、それに順応できずにとけこめない人もいます。日本で働く以上は、日本の社会のしくみを理解してほしいという意見もありました。

ハローワークでは面接の際の注意事項や履歴書の書き方などを書いたパンフレットを英語と中国語で用意しています。求人先を紹介して、就職が決まる率は決して高くないようですが、面接後就職が決定したあとも、実際の雇用条件が求人票に記載されていたものと違っていった場合に、相談にのったりという対応もしています。

よりよい就職には 意志の疎通がポイント

外国人の相談者を統計的に見ると、国別では中国が圧倒的に多く全体の45%を占めています。これは在留資格という点から中国帰国者及びその家族としての定住者が多いことからと思われます。そのほか、フィリピン・ガーナ・ペルーが6%、ブラジルが5%で、合わせて30数カ国の外国人がハローワークを訪れています。

'95年度に就職が決定した職種としては、男子では調理人・雑務・メッキ工・プレス工・電気技術者・機械技術者・配管工・土工・オペレーター・食堂雑務・食品製造・営業など、女子では雑務・清掃婦・ウェイトレス・電気組み立て・機械組み立て・販売・家事手伝い・検査工・プレス工・荷造工などがあります。

日頃、外国人の相談者に対応しているなかで、もう少し日本語ができれば職種も広がり就職率も高



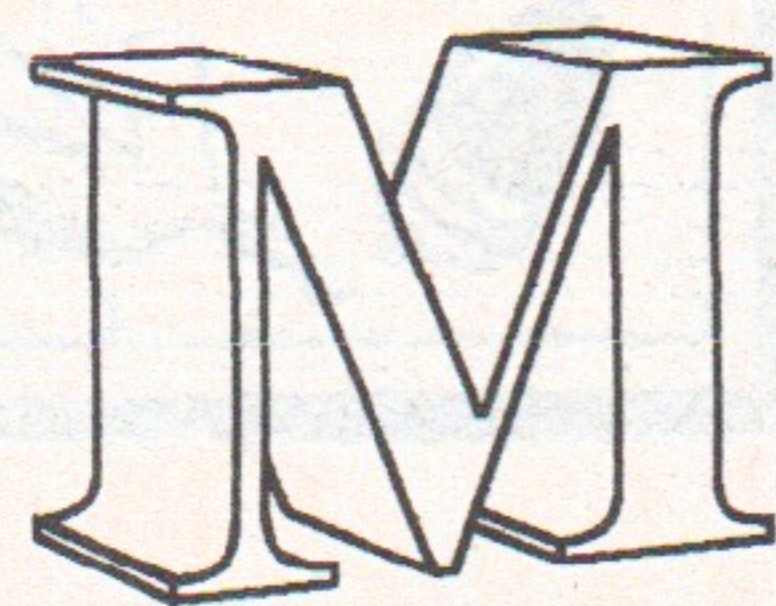
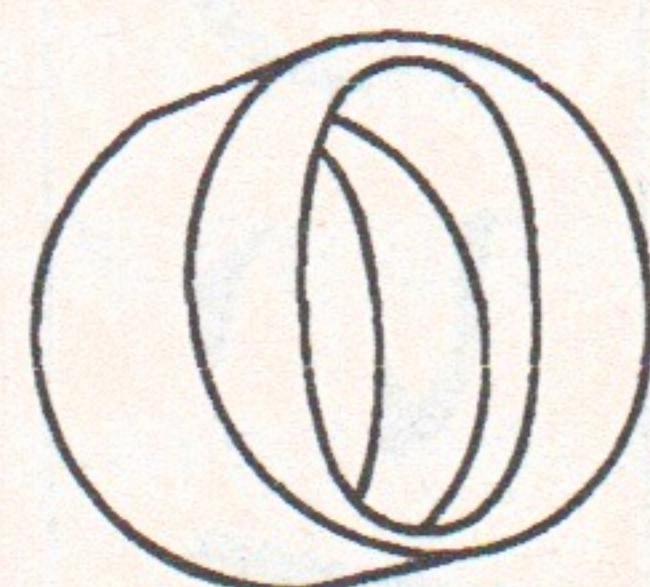
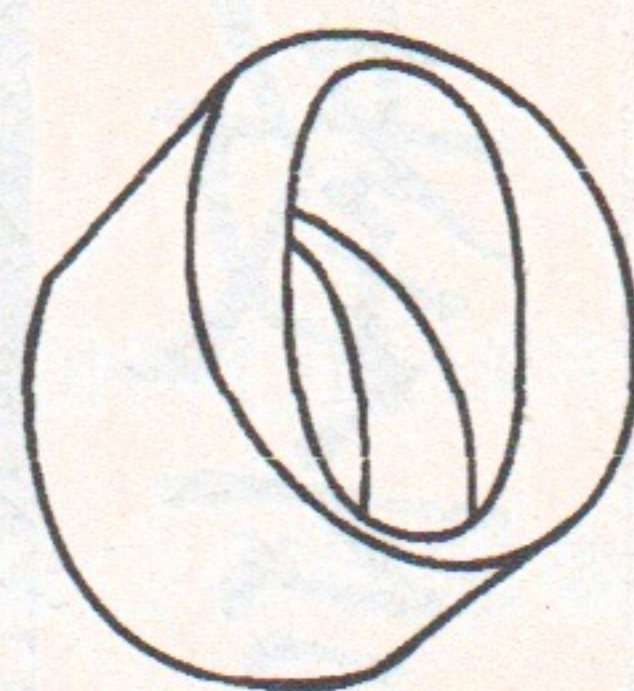
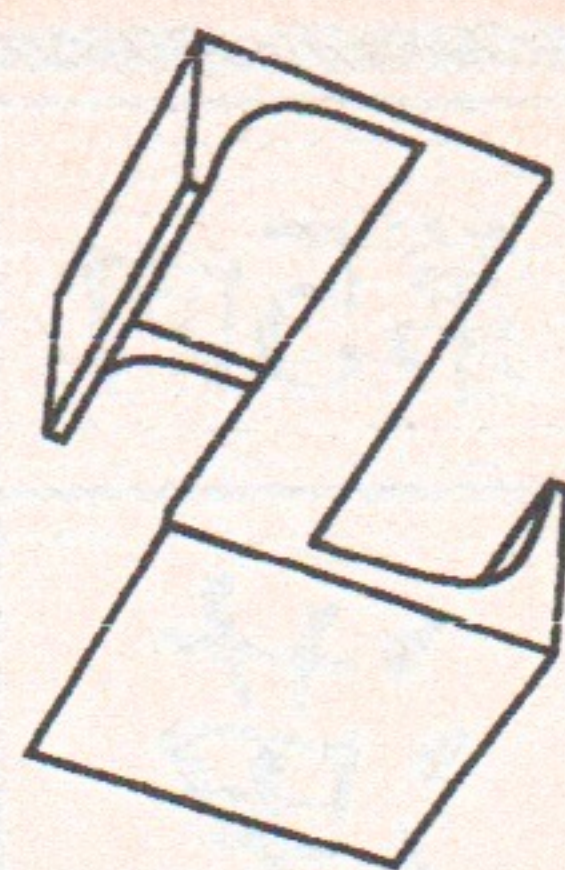
くなるのではと、感じるが多々あるそうです。ですから、「せめて簡単な日常会話ができて、さらにひらがな・カタカナの読み書きくらいはできれば…」と窪さんは外国人相談者へアドバイス。そのため、経済的・時間的に日本語学校へ通うことが難しい人たちにボランティア日本語教室を紹介することも多いということで、東京日本語ボランティア・ネットワークの『ボランティア日本語教室ガイド』も窓口で活用していただいているということでした。

また、配偶者が日本人である場合は、ハローワークを訪れる時に本人の能力や希望をよくわかっていてその配偶者が付き添ってきてくれば、通訳ではわからない微妙な問題も話し合え、スムーズに登録・紹介が可能になるのでは、ということでした。

外国人に限ったことではありませんが、担当者が何件も電話をかけて面接の約束を取りつけたにもかかわらず、面接の当日に先方に行かなかったというケースもたまにあるそうです。このような出来事が、今後の外国人の雇用先をますます狭めてしまうことを考えてほしいものです。もちろん反対に、日本人に敬遠されがちないわゆる3Kといわれる仕事にすすんで従事し、懸命に働いて会社に貢献している外国人もたくさんいるのですが。

外国人の相談者にスムーズに対応するためには、「ハローワークとしても外国語に堪能な人材をより増やしていく努力も必要」と吉野さん。将来は対応言語数や曜日なども拡大できればと考えていらっしゃるようです。言葉のハンディを乗り越えてよりよい職場で働くためには、仕事を決める際に意志の疎通をきちんと図ることがなによりも重要。その橋渡しとなるハローワークの意義や責任は大きいものがあるようです。

(写真提供:ハローワーク渋谷)



第5回

漢字教育について

「正しい日本語」とは何か

日本大学講師

福田

知行



前回は「権威」としての教科書について述べましたが、初めて日本語を教える場合は市販の教科書を使ったほうがやりやすいことは確かです。基本(文法)項目に漏れはないはずですし、「正しくない」日本語は出てきませんから安心して教えられます。ただ、やはり、どういう人がその教科書で勉強するのかということをいつも考える必要があります、そうでなければ教科書は単なる「絵にかいた餅」になってしまいます。

たとえば、日本社会に永住あるいは長期間滞在しなければならない人々にとって漢字は大きな関門になっており、漢字を知らなければ重要な情報を入手することはほぼ不可能です。従来教科書では文字の重要性に対する認識がないものが多かったのですが、今後は学習者のニーズにきめ細かく対応できるようにすべきです。それには日本人の児童と同じやり方ではだめで、もう少し効率よく体系的に教える必要があります。最近になってようやく日本語教育でも漢字の重要性が認められてきたようですが、まだまだ不十分です。漢字の持つ「構造」や「発音」、そしてその「用法」についての研究が待たれます。

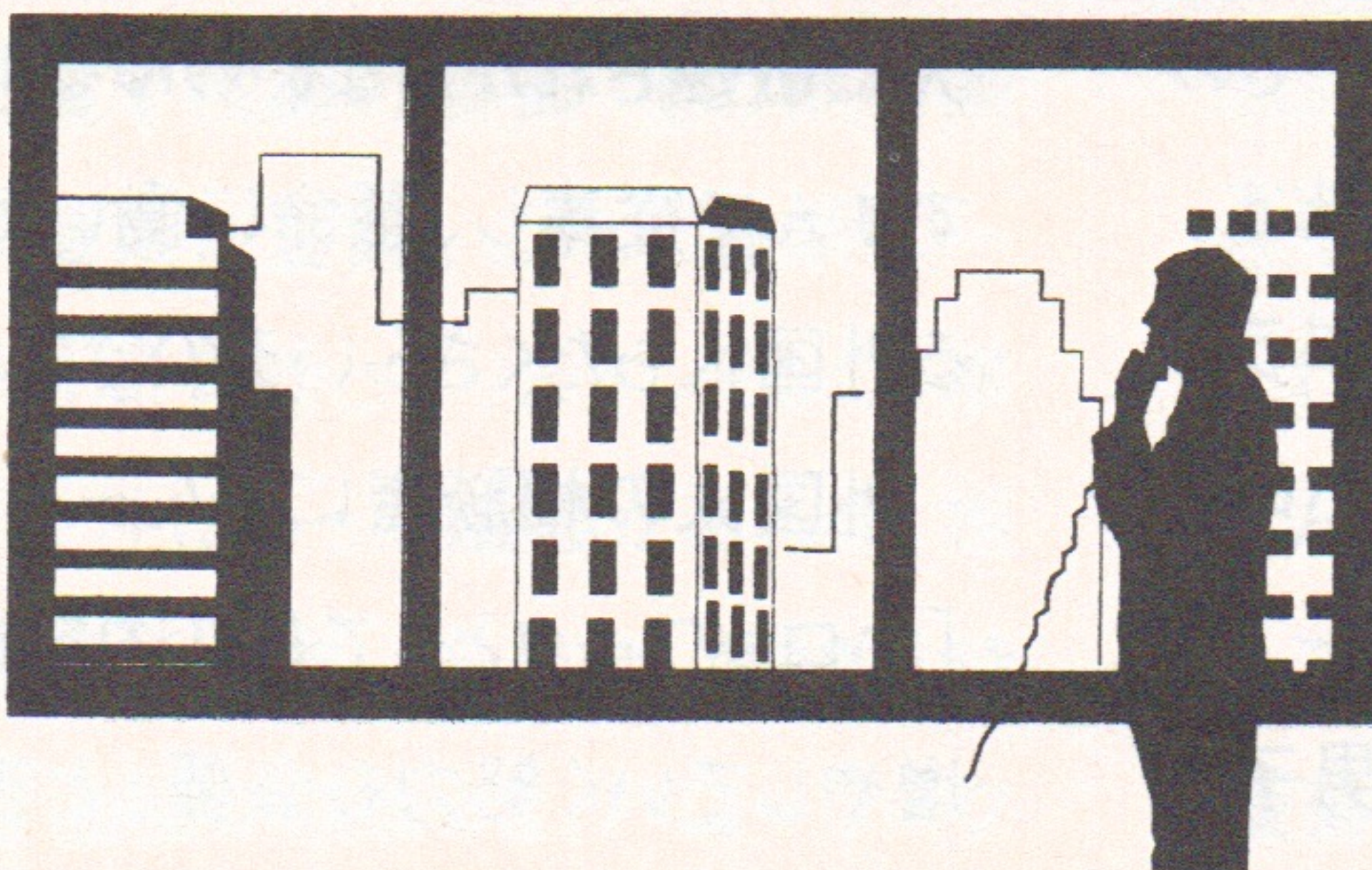


たとえば、「学生」の「学」は「がく」なのに「学校」では「がっ」のように促音化します。これは「一く」という音読みの漢字は次に力行で始まる言葉がくると促音化するという規則があるからですが(ちなみに、「六回」が「ろっかい」となり、「六冊」が促音化せずに「ろくさつ」になるのも同じ規則)、こうした知識も従来の日本語教育からは落ちていましたし、個々の漢字と熟語としての漢字の用法の違いも認識されていませんでした。たとえば、「牛」は肉としては「ぎゅう」、生きていれば「うし」と読み、熟語ではどちらも「ぎゅう」(牛丼・乳牛)ですが、「豚」や「鶏」はこうした区別がありません。また、個々の漢字の覚え方に関して言えば、「乳」は「子(子供)」が「爪(指先)」で「し(乳房)」をつかんで乳を吸っているようすを表しているというような、学問的な字源とは少し異なる教え方も必要になるだろうと思われます。

KDDによる TNVN支援プログラム

このTNVN支援プログラムは、TNVNの活動に賛同される方に電話番号を登録していただき、その電話番号からKDD(001)でかけた国際電話の通話料の一部がTNVNに対する支援金としてKDDより資金援助されるものです。

'94年11月にスタートしたこのプログラムも、TNVN会員をはじめ多くの皆さまのご協力によって、これまでに380名を超える賛同者の方々にご登録いただいています('96年5月現在)。その結果、



'95年度('95年4月～'96年3月)の本プログラムによる支援金は総額で191,692円に達しました。

この支援金は、TNVN事務局の運営費(郵送料等)やニュースレターの制作費などに活用させていただきました。こ

こにご報告するとともに、あらためて皆さまのご協力にお礼を申し上げます。

今後とも、さらに多くの賛同者を募れますよう皆さまのお知り合いの方々へ本プログラムのご紹介をお願いいたします。

※この支援プログラムに関するお問い合わせ、また賛同者カードがご入用の際には、TNVN事務局までご連絡ください。

外国人のための 生活ケア講座 No.4 アルバイト事情②

いざアルバイトを始めてみたら思っていたことと違った、という経験はありませんか。賃金が安いと感じる人もいれば、仕事がきついと思う人もいるはず。仕事を続けていけば、ちょっとしたトラブルはつきもの。でもなかには、あまりに不当な扱いを受けることもあります。そんな時、どうしたらいいのでしょうか。

問題が発生したら

ようやくアルバイトを見つけても「約束通り賃金がもらえない」「仕事の内容が話と違う」などといったトラブルがあります。これは外国人に限らず日本人にもよくあることで、この場合、今後このようなことで誰かが困らないためにも、求人を紹介してくれた案内所などには報告しておくことが大事。

また、アルバイト中にケガをしたり、約束の期日を過ぎても賃金をもらえないといったトラブルもあります。まず冷静に職場の責任者と話し合い、それでも解決できない場合は、相談機関に相談してください。

事故が発生したら

アルバイト作業中の事故や、自宅と職場の往復路上の事故に限っては「労働者災害補償保険法(休業損害等)」（労災法）の適用を受けることができます。職場で事故が起こったら、すぐに担当者に届け出て治療を受けてください。

また、路上で交通事故に出会ったら、治療を受けると同時に必ず警察に届けてください。治療を受けてから、その後の対応を話し合うことになります。職場の担当者に十分な理解がないなどで必要な治療が受けられなかったり、損害を補償されなかった場合には、相談機関に連絡してください。

＜トラブル相談機関連絡先＞ 東京都の労政事務所と労働経済局労政部は、働く人と雇用者の間で自主的に解決できない問題が起こったときに解決の援助をしています。

◆東京都労働経済局労政部

新宿区西新宿2-8-1 都庁第一本庁舎31F

TEL:03(5320)6110 月～金9:00～12:00(日本語)

月・木14:00～16:00(英語)

◆中央労政事務所 新宿区神楽河岸1-1

セントラルプラザ12F TEL:03(3267)6110

月～金9:00～12:00(日本語)

水17:00～20:00(日本語) 月・木14:00～16:00(英語)
労政事務所は、地区ごとに事務所があるので、電話で問い合わせを。

労働条件はメモして保存

アルバイトをするときに、雇用主から「雇用契約書」を受け取ることができればいいのですが、ほとんどの場合そうした手続は行われていません。私も過去にいくつかのアルバイトを経験しましたが、どこにも「雇用契約書」などというものはありませんでした。

トラブルが起きてからでは手遅れです。雇用主側に「誤解があると困りますので」などとことわって、勤務時間・賃金・賃金の支払日・雇用担当者の氏名・電話番号を書面にしてもらうように頼むことをすすめます。もし雇用側が書いてくれなかったら、自分でメモをして、それを確認してもらうのもいいでしょう。万一、トラブルがあったときに役立ちます。新聞・情報誌などでアルバイトを見つけた人は、その求人欄のページを切り抜いて保存しておくことを忘れずに。

賃金のチェック

賃金不払いなどを防止し、トラブルを防ぐためにも、自分が働いた日・時間・受け取った賃金の金額・その日付はきちんと記録しておきましょう。

無断遅刻・欠勤

これだけは絶対にダメ。アルバイトだからといって連絡をしないで勝手に遅刻をしたり、休んだりすることは許されません。休むときなどは前もって「〇〇日に休みます」と伝えておくことが大切です。無断で遅刻・欠勤をしていれば信用を失い、解雇されても文句を言えません。日本人はこの点を重視するので要注意。

今回はアルバイト事情についてふれてみましたが、いかがでしたか。外国人のなかには「日本の物価は高いんだから時給だっていいはず」と思ってアルバイトを始めたのに違っていたという人もいるかもしれません。思ったよりも求人は少なく、街に貼り出してある求人募集広告を見ても、決して高いとはいえません。より好みをして自分の条件ばかり提示するのも困りもの。基本条件さえきちんとしているなら、トライしてみるのも経験になるのではないのでしょうか。

NETWORK INFORMATION

日本語ボランティア入門講習 会は11月で終了します

第4期を開講中の日本語ボランティア入門講習会は、会場として利用している東京都生涯学習情報センターが移転に伴って12月で利用できなくなることから、とりあえずこの11月をもって一旦終了することになりました。来年以降、会場を確保でき次第、新たに入門講習会を継続していく予定です。上記のような理由から、10～11月は変則的な開催となりますので、ご注意ください。(日本語ボランティア相談窓口は休ませていただきますので、ご了承ください)

◆日時

10月22日(火) 午後6～9時
11月12日(火) 午後2～5時
11月26日(火) 午後6～9時

◆テーマ

10月／ボランティア日本語教室活動の紹介
日本語をどのように教えるか
11月／日本語学習者の現状
日本語を教える上での問題点

◆会場／東京都生涯学習情報センター
(JR・地下鉄 有楽町駅下車 徒歩2分)

◆参加費／1回600円

◆全6回修了された方には修了証をさしあげています。

TNVN事務局スタッフを募集!

TNVN事務局では下記のボランティアスタッフを募集しています。活動はボランティア(無給)ですが、お手伝いいただける方は、事務局までご連絡ください。

◆日本語教室ガイド担当

A:在宅でMACの入力ができる方で、イラストレーターを使用している方。

B:月2回程度、事務局でガイドの原稿整理・連絡等をしていただける方。

◆ニュースレター担当

A:在宅でパソコンによる原稿レイアウト・デザインができる方。できればMACによるDTPの経験者。

B:月に数回事務局へ来て編集作業ができ、パソコン通信で原稿の送受信ができる方。
(編集経験者もしくは適性のある方)

【市民による民主的な コミュニケーション作り 研究会】から

市民による民主的なコミュニケーション作り研究会では、市民活動としての日本語ボランティアに関するさまざまな問題をテーマに「対等なコミュニケーション」という視点からディスカッションをしています。

昨年10月のスタート以来、これまで月1回のペースで話し合いをもっていますので、関心のある方はぜひご参加ください。

◆日時／10月18日(金) 午後6時30分～

◆会場／スリーエーネットワーク 会議室
(JR 水道橋駅、地下鉄 神保町駅 下車)

◆連絡先／福田 知行

〒157 世田谷区喜多見4-28-21

TEL/FAX:03-3416-8834

ニュースレターの掲載原稿を 募集!

「日本語NETWORK NEWS」に掲載する原稿を募集しています。

事務局まで、郵便またはFAX、
E-MAIL(QYF06475@niftyserve.or.jp)で

お寄せください。

◆テーマ

会員団体のプロフィール

日本語を教える3つのヒント

日本語教室で学んだこと

TNVNへの要望・期待すること

◆原稿量 600字程度

TNVNの活動情報へ パソコンでアクセス!

＜NHKボランティアネット＞

パソコン通信ネットワーク『NHKボランティアネット』では全国のボランティア団体の活動情報などが電話料金だけで(情報料は無料)とりだせます。

◆アクセス方法

1 電話番号 03-3375-1072 にアクセス。
ID番号を半角で「NVN20000」と入力する。
2 パスワードは不要なので、returnキー(または改行キー)を押す。

◆インターネットのホームページ

アドレス <http://www.nhk.or.jp/nhkvnet>

＜日本語プラザ＞

インターネットを利用した日本語教育のあり方を研究しているグループ「日本語プラザ実験室」のホームページにはTNVNの活動情報や会員団体の情報が掲載されていますので、ぜひご利用ください。

◆アドレス <http://www.plaza.hitachisk.co.jp/~jpnedu/>

上記のホームページにボランティア募集やイベント参加者募集などの情報掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。

◆担当／前田 恭子 FAX:03-3412-6711

E-MAIL:QYF06475@niftyserve.or.jp

TNVN事務局の連絡先

TNVNへのお問い合わせ・お申し込み等は、下記までなるべく郵便またはFAXでお願いいたします。

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティアセンター 気付

東京日本語ボランティア・ネットワーク

TEL:03-3235-1171(呼出し/月曜のみ)

FAX:03-3235-0050

東京都防災『語学』 ボランティアを募集

- ◆活動内容／災害時の相談窓口・外国人の支援など、都立病院での外国人の支援、各種国際会議など
- ◆応募資格／都内在住・在勤・在学の日本人および外国人
- 満18歳以上で70歳未満で、一定以上の語学能力がある方(資格証明を有する方)
- ◆説明会／活動を希望する方は必ず説明

会に参加してください。

- ▼10月29日(火)午後2時～3時30分
東京都社会福祉保健医療研修センター
(地下鉄・茗荷谷駅下車 徒歩10分)
- ▼11月14日(木)午後6時～7時30分
江戸東京博物館・ホール
(JR総武線・両国駅前)
- ◆問い合わせ／東京都生活文化局
国際部国際化推進課
TEL:03-5388-3135

日本語フォーラム'96 「共生を目指す 日本語・識字教室と国際交流」

- ◆日時／11月24日(日)
午前10時～午後7時
- ◆会場／北区赤羽会館
- ◆定員／100名(申込み先着順)
- ◆参加費／1,000円
交流懇親会 1,500円
- ◆プログラム／9:30 開場・受付
10:00 開会
10:40 基調講演(大阪大学 山田 泉)
11:00 分科会
15:15 パネル・ディスカッション
17:00 交流懇親会
- ◆問い合わせ・申込み／福田 知行
〒157世田谷区喜多見4-28-21
TEL/FAX:03-3416-8834

CVC主催「中国語ボラン ティア入門講座」

- 中国語圏の人々を語学で支援している中国語ボランティア・ネットワークでは、ボランティア活動希望者などを対象に中国語ボランティア入門講座を開催します。
- ◆日時／10月26日(土) 午後2～5時
 - ◆会場／小金井郵便局コミュニティルーム(JR武蔵小金井駅北口より徒歩5分)
 - ◆講師／東京都外国人相談員、CVCの中国人・日本人メンバー
 - ◆定員／20名(申込み先着順)
 - ◆参加費／1,000円(資料代など)
 - ◆問い合わせ・申込み／秦 佳朗
〒184 小金井市本町5-37-14
住所・氏名・電話番号・中国語学習歴を明記の上、返信用封筒を同封してお申込みください。

韓国の語学学校で 日本語教師を募集

- ◆勤務地／韓国江原道春川市
- ◆応募資格／四年制大学卒業者
日本語教師の有資格者
(日本語教育に関心があり、熱心な方)
- ◆勤務時間／週30時間
- ◆待遇／初任給 80万ウォン(経験によっ

- て異なる)
滞在中の宿舎は提供
- ◆応募・問い合わせ／現代時事語学学院
(日本語担当 金 愛鏡)
韓国江原道春川市孝子3洞20-4
TEL:0361-52-1223
FAX:0361-56-7257
履歴書(写真貼付)と自己紹介の手紙をFAXしていただければ、後ほど連絡します。

第8回 留学生秋の スポーツフェア

留学生スポーツ交流協会が主催する留学生秋のスポーツフェアが開催されます。留学生だけでなく、日本人学生や一般の方々も参加できますので、スポーツでの交流を楽しんでください。

- ◆日時／10月26日(土)
午前9時～午後5時
- ◆会場／
駒沢オリンピック公園総合運動場
(東急・新玉川線 駒沢大学駅下車
徒歩12分)
- ◆競技種目／100M競争・タイヤ引きレース・FFLサッカー・障害物競走・綱引き・風船割り・抽選会など
- ◆定員／留学生1,000人、日本人500人
- ◆参加費／無料
- ◆問い合わせ・申込み／
留学生スポーツ交流協会事務局
〒103 中央区日本橋浜町2-60-2
パークサイド日本橋2F
TEL:03-3663-5707
FAX:03-3663-8869

町屋日本語教室で 『生活漢字306』を発行

- 日常生活に必要な306の漢字の読み・意味・熟語・例文などを、生活シーンに合わせて学習できるテキスト。熟語には英語とタガログ語の対訳つき。付録として日本の生活に役立つ生活インフォメーションもついています。
- ◆体裁／B5版・464ページ(1部2色刷り)
 - ◆価格／定価 2,500円
 - ◆問い合わせ・申込み／担当 佐藤
TEL:03-3806-3186 FAX:03-3805-7684
電話・FAXで注文いただければ、郵便払い込み用紙を同封して送付します。

BULLETIN
BOARD

SPECIAL THANKS

★ハローワーク 渋谷 様

快く取材に応じていただきました。

★KDD 国際電信電話(株) 様

サポートプログラムによる支援金、ニュースレターの印刷、東京OURSの際のフリーコールにご協力いただきました。

★東京OURS'96 運営事務局 様

国際交流井戸端会議&学芸会の開催にあたってご協力をいただきました。

メディアに見るTNVN情報

◆メトロポリタンTV

『都政出前講座』8月14日ON AIR

ボランティア日本語教室とTNVNの活動の紹介

◆(財)国際文化フォーラム 刊

『ワールドプラザ』47号

ボランティア日本語教室とTNVNの活動の紹介

◆(株)アルク 刊

『月刊 日本語』9月号、10月号

日本語ボランティアとTNVNの活動の紹介

◆パトリモニオトーキョウ 刊

『JORNAL TUDO BEM』9月14日号

東京OURSでのTNVNのイベントの紹介

◆インターFM

『PUBLIC SERVICE ANNOUNCEMENT』

9月23～29日ON AIR

ボランティア日本語教室とTNVNの活動の紹介



在日ブラジル人向けのポルトガル語新聞『JORNAL TUDO BEM』には東京OURSでの国際交流学芸会の模様がカラー写真とともに紹介

事務局DIARY

私どもの教室では常に教える側の資質の向上ということを目指しているのであるが、これがなかなか難しいのである。なぜならば、資質の向上というのは個人の問題であって、誰がどう教えるとか指導するというものでもない、あくまでも個人の自覚に待つしかないからである。ただ、自分自身が一生懸命にあらゆる本を読んだり、見聞したことの中から、これはなんとしても他の人たちに知ってもらいたいという気持ちが押さえ難くなり、それをお互いにぶつけ合うことならできている。

前号のニュースレターで甲斐さんが指摘されたように、せっかく参加しているTNVNなのだから、もちつもたれつ、お互いのより良いと思われる考えをどんどん事務局に寄せていただいて、それを各地域の皆さんに伝えていくようにしたらどんなものか。そのことで皆さんが啓発され資質の向上につながっていくのであれば、TNVNの存在価値も一層増すであろうこと疑いなしである。何の修正

も加えずに紙面にお互いの見解がぶつかり合うことによって、ディベートが起こる。参加しているという実感がそこにはある。

事務局に時々顔をだしている私は、会員の皆さまの声があまりにも聞こえてこないことに一抹の寂しさを感じている。各団体に郵送されている「日本語ネットワークニュース」の伝わり方、読まれ方が気にかかる……。機関紙を作りあげている人々の陰の汗と涙を無駄にしないように皆で支えていきたいものである。

渡辺 昌人 (TNVN 監査)

編集後記

★行事の多い秋、スケジュールを決める時の優先順位は…? 仕事(といっても私は主婦、母、妻ですが)とボランティアと趣味、はかりにかけるのが難しいときがたっくさん。こんなことでも悩みます…秋。 *Sumiko*

★ニュースレターの編集をしていると予想もしない出来事に遭遇し、TNVNとの関わり方についてを考えさせられる。いい意味での"GIVE&TAKE"が理想だけれど、TAKEばかり考えてる人が多いようで…。 *🐾 KYOKO*

★会社員になってしまうと休みがない。趣味なんて持ったらやってられない…。 *ペーラー*

発行人/中田紀子 編集人/前田恭子
レイアウト/鶴田環恵

T N V N と は

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク(連絡協議会)として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成

されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由している外国人などを隣人として支援しています。

